

逗子ロータリークラブ Weekly Report



第2734回例会

2018-2019 No.19 2018年11月15日



インスピレーションになる

E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: <http://www.zushi-rc.com/>

例会日
 第1・2・4 木曜日 12:30
 第3 木曜日 18:30
 第5 木曜日 18:00
 例会場:「カンティーナ」
 逗子市新宿 1-3-15
 TEL: 046-870-6440
 事務所: 逗子市桜山 6-3-29
 TEL&FAX: 046-873-0226

会長◆山本 由夫
 会長(外)◆大野 宏一
 副会長◆福嶋 謙之輔
 鈴木 安之
 幹事◆清水 恵子
 SAA◆矢部 房男
 会計◆岡本 久
 直前会長◆村松 邦彦
 会報委員長◇宝子山 泰久

本日の進行 (18:30)
 葉山 RC 合同例会
 三浦 豪太氏
 (プロスキーヤー、医学博士)
 「エベレスト登頂」
 一回のお知らせ—
 11月22日(12:30)
 財団補助金委員会
 三宅謙委員長
 補助金分配・推進委員会
 岡本久委員
 「財団補助金について」

—2733回 例会記録

2018年11月8日—

山本会長の時間



今日の卓話者は、桐ヶ谷会員のご紹介で、細野裕氏です。中学校再建についてのお話を伺います。後程、宜しくお願ひ申し上げます。

昨日、第2グループ会長幹事会が、ホストクラブ鎌倉中央ロータリーで北鎌倉にて開催されました。岡野 AG より、以前から来年3月2日のIMについて、それぞれ1時間ずつの持ち時間で各クラブを紹介し、最終的にロフォス湘南での懇親会を行うという、スタンプラリーのようなIMにしたいとお話があり、5クラブから各2名の実行委員が今回の会長幹事会に参加しました。しかし、逗子は実行委員を出さずに実行不可能と発言を行い、葉山・鎌倉中央・鎌倉大船の各クラブも意見に賛同いたしました。

最終的に岡野 AG が折れてくださり、ロフォス湘南で午後から開催するとの結論に至りました。当日、ロフォス湘南で各クラブが、それぞれのテーマを決めて30分の持ち時間内で発表するとの結論になり、私と幹事も内心ホッといたしました。

今後、各クラブで予算を出して何をするか決めたいと思います。11月28日(水)までに、岡野 AG 宛にアイデアをメールで送るということで終了しました。

今年も残すところ2か月となりました。昨日11月7日は立冬でした。いよいよ、寒い冬がやってきます。朝晩は冷え込む時期ですので、皆様、風邪など引かないよう気をつけてお過ごしください。

今月はロータリー財団月間です。財団が地域社会や国際社会への奉仕を強化していくために、奉仕活動の充実と資金の援助が重要になります。世界の貧困や飢餓と疾病(特にポリオ)撲滅のためにも、世界の平和に貢献する財団への寄付は必要です。会員の皆様の善意によって、少しでも世界への理解と、ロータリーの認知度を高めるためにも、財団への寄付をよろしくお願ひ致します。これで、会長の時間を終わらせていただきます。

【出席報告】 会員数 48名 (出席免除4名)
 出席者 22名 出席率 47.82%

幹事報告

清水幹事 週報: 横須賀北 RC、横須賀 RC
 開催案内: ・11/17(土) 13時00分～
 第6回インター・ローターアクト委員会
 於: 第一相澤ビル6階
 例会変更案内: ・鎌倉大船 RC 11/15(木) 例会場所変更
 「秋を楽しむ例会」北鎌倉から常盤へののんびりウォーク
 ・11/22(木) 休会
 その他: ・脇ガバナーより公式訪問のお礼状を頂きました。
 ・2019-20年度ロータリー奨学生(地区補助金)として逗子 RC より推薦した田丸文菜さんが合格致しました。

11月誕生日・結婚記念日のお祝い(敬称略)

本人: 村田典昭
 配偶者様: 村松洋子(邦彦)
 結婚: 安藤脩二・久美子、石田隆・美恵子、
 山本由夫・康子、河野征一郎・富美子、
 村松邦彦・洋子、村田典昭・昌美、
 中根康夫・美穂子、桐ヶ谷覚・和子
 横瀬元治・啓子、清水恵子・武壽

財団ニコニコ 山本(由) \$50
 鈴木(安)、桐ヶ谷、臼井 各\$10
 米山ニコニコ 山本(由) 5,000円
 船津、鈴木(安)、臼井、桐ヶ谷
 各1,000円

— 11月はロータリー財団月間です —

★ロータリー財団への寄付目標
 1人 150ドル以上
 御協力、どうぞ宜しくお願い致します。

「熱血校長 悪い中学大改革奮戦記」

細野 裕氏

逗子市市民協働課



始業式で宣戦布告！

今から16年位前、当時悪評高き横須賀市立武山中学校の校長にまさかの赴任。4月5日覚悟を決めて臨んだ始業式で800名の生徒の前で第一声をあげました。予想どおり話を聞かない、自分勝手なおしゃべり、遅れてくる…この遅れて来た生徒のおしゃべりは絶対に許せない。私は壇上から降りて本人と向き合いきっぱりと言いました。「俺は校長としてこの学校に来た。俺の話ちゃんと聞いてから今度の校長は良いとか悪いとか評価しろ。俺はこの学校を良くするために君たちと力を合わせたい。校長一人じゃ良い学校は出来ない。君がいて、俺がいる。そして先生方がいる。その後には地域の方がいて保護者がいる。そう言う中で我々はこの学校を良くする。」そして「大変悪い学校と聞いているが、帰ったら親にちゃんと伝えてくれ。細野裕という校長が、今度武山中学を良くしに来た」と。

に許せない。私は壇上から降りて本人と向き合いきっぱりと言いました。「俺は校長としてこの学校に来た。俺の話ちゃんと聞いてから今度の校長は良いとか悪いとか評価しろ。俺はこの学校を良くするために君たちと力を合わせたい。校長一人じゃ良い学校は出来ない。君がいて、俺がいる。そして先生方がいる。その後には地域の方がいて保護者がいる。そう言う中で我々はこの学校を良くする。」そして「大変悪い学校と聞いているが、帰ったら親にちゃんと伝えてくれ。細野裕という校長が、今度武山中学を良くしに来た」と。

たばこはこうしてやっつけた！

今迄は教師の前で平気でタバコを吸う生徒達に「タバコの害のビデオ」を見せ説教して帰らせると言う甘い対策にがっかり。それからはタバコを吸っているのを見つけたら本人に親を呼ばせ「親子面談」を始めました。そこで話したことは「未成年者の喫煙は法律違反。」法律に違反する子を教室にいたくない。私が預かるか、家で家族が見るか、図書館で勉強するか3つから選ぶよう親に言いました。親が先生に「学校に預けてお願いします」と言う関係を見せたかったのです。担任には「君がいないと教室はつまらない」と（うそでもいいから）言わせました。子供達は受け入れる場所があると思うと安心感が生まれます。毎日、校長室に親子の行列が出来ましたが何とかやり切り、この様にして喫煙する生徒が減ってきました。

何よりも大切な地域や小・中学校との緊密な連携

まずは新しい校長の元で、教師達がどれだけ頑張っているかを地域の人に認識してもらおう。その上で該当の自治会、町内会等との集会を通じて、校長が地域に何をしてもらいたいかを具体的に伝える。例えばタバコを吸っていたら直接きちんと注意できる大人になって欲しい。子供達は丁寧に、穏やかに、正しくちゃんと叱られることに飢えているはず。また、小学校からスポイルされて来ている子供は中学で爆発する。小中との

連携はもちろん、出来れば地元の幼稚園、保育園との関係を密にすることが必要な時代に。荒れた中学に入れなければならない小学生の親の不安を解消するために、校長自ら複数回、親御さんとの懇談を3年間続けました。

校内での悪質ないたずらや暴力には怯まずに毅然と挑む

消火器をいたすらで撒きちらし、非常ベルが鳴る。その度授業を中断し避難する。やがて止められない学校に他の生徒達は嫌気が差す。だったら昼間は消火器なんか引っ込めちゃえ！避難なんかさせない。昇降口のガラスが割られた。今迄は生徒が登校する前に処理していたが、もうそんなことはしない。生徒や保護者に現場をしっかりと見せる。いろいろ調べたら隣の学校を含めガラスを割られた被害額はこの6年間で何と370万円相当。修理はすべて税金で賄われている。例えば学校の指導が悪くて恨んでやったと言う親の声があっても、それでガラスを割るという行為で仕返すことは許せない。正当な指導をして歯向かってきたら敢えて接近し殴られることも厭わない。校長の責任に於いて警察に被害届を出し、正しく罰を受けさせ、戻って来たら保護司と協力して立ち直らせるのです。

少しずつ芽生えて来た子供達と地域の「いい関係」

いろいろな問題を乗り越えて、今まで手を拱いていた地域の大人の良識が子供達を温かく包むようになって来ました。「野球をしてくれる地域の青少年指導員の動き」「県民運動会で子供達の活躍の場をつくる町内会、自治会の役員達」「町内会のお祭りで中学生を中心に盛り上げる婦人会のメンバー」。そして地域の子供達への防災学習指導が更にお互いの連携意識を高めました。1～3年生を町内会・自治会ごとに編成し、各町内の歴史・自慢話・防災の仕組みを語り、お礼に子供達が町内会館の清掃等ボランティア活動をする。これは私の次の赴任先の浦賀中学でも実践され、創立70周年を迎えた今、浦賀中は、文科省の防災地域連携モデル研究校として展開中で、教育課程全体の位置づけとされ、私が仕掛けてから12年経つ今でも発展的に取り組んでいます。

学校づくりの柱となる8つの視点

- ①子供を荒れさせない
 - ②子供をエンパワーする集団づくり
 - ③チーム力を大切にする学校運営
 - ④実践施行の積極的な学校文化
 - ⑤地域と連携する学校づくり
 - ⑥基礎学力定着のためのシステム
 - ⑦リーダーシップの存在
 - ⑧教師の体づくり
- (担当 宝子山)

教育関係者・地域の皆さん・保護者そして子供達 一人でも多くの人に聞いて欲しい臨場感溢れる奮戦記でした。

ニコニコBOX 本日合計 ￥24,000 累計 ￥740,000

山本(由)君…昨日は立冬でした。朝晩冷え込む時期です。風邪などに注意してお過ごし下さい。細野裕様、卓話宜しくお願ひ致します。

清水さん…細野様、よろしくお願ひします。

鈴木(安)君…秋らしい良い日です。

安藤君…あと2か月で新年。頑張るぞ！

船津君…細野さんスピーチよろしく。

矢部(光)君…東山魁夷が描く奈良唐招提寺の襖絵を六本木の国立新美術館で鑑賞、大作に感動！

矢部(房)君、山口君…細野裕先生卓話宜しく。

臼井君…異常気象、我が家の桃の花は3分咲きです。

宝子山君…細野裕様、真っ向から取り組んだ「中学校再建の裏話」大いに楽しみです。

草柳君…細野さん卓話期待します。

三宅君、菊池君、桐ヶ谷君、矢島君、大野君、岡本(一)君…細野様卓話お願ひ致します。

山本(三)さん…立冬もすぎ寒くなってきましたね。

横山君…格闘技の練習中にケガして、日常生活に不便を感じます。